



人権協シンボルマーク



いろんな人と人とのつながり、  
ふれあいを美浜のMと波で  
イメージしました。

ふれあい

人権協HPが  
できました!

## 人権のつどい2023

# 米良美一トーク&コンサート

12.9 sat

めら よしかず  
[カウンターテナー] 米良 美一さん



から容姿をからかわれたこと等の経験を話されました。そんな中、歌と出会い、「私には歌を歌うことしか生きていくべきがない」と歌の世界で生きていくことを決意されました。



もののけ姫の主題歌を歌い、一躍脚光を浴びた当時は、あまりにも突然世間から注目を浴びたことで、人間性が伴わず、心も体もボロボロで自分自身がもののけのようになってしまったそうです。中身が伴っていないのに大役をこなすのは大変で、死んでしまいたいと思っていた時期もあったそうですが、何度も心を入れ替え、現在も歌の活動を続けておられます。

12月9日に、人権のつどい2023が生涯学習センターなびあすで開催されました。今年のつどいでは、米良美一さんによるトーク&コンサートが行われました。

米良さんは、先天性骨形成不全症という難病と闘いながらも、幼少期より歌の世界で才能を開花。オランダのアムステルダム音楽院への留学等を経て歌手デビュー、もののけ姫の主題歌を歌い、一躍脚光を浴びました。

しかし、2015年にくも膜下出血を発症。一時は復帰できないことも懸念されましたが、奇跡的に復帰を果たしました。

トークでは、「生きながら生まれ変わる(社会復帰)」をテーマに、幼少期は、ほぼ寝たきりだったことや友達

米良さんは、「たくさん悩んだがゆえに悩んでも仕方がないと思った。次は人間に生まれて来られるか分からない。一度きりの人生を楽しみ、誰かといがみ合うのではなく、愛し合って生きていこうと思った」と話されていました。

トークの合間に行われたコンサートでは、「もののけ姫」をはじめとする5曲を披露。アンコールでは、美輪明宏さんの「ヨイトマケの唄」をカバーし、自身の経験を歌詞に込め、訪れた観客を魅了していました。

難病で大変な人生だったと思いますが、今も明るく力強い歌を歌われて、すごいなと感動しました。与えられた体、才能を精一杯いただいて生きる、これは米良さんだけでなく、自分にもいえるなと思われました。今日は本当にありがとうございました。

米良さんの歌とトーク素晴らしかった。最後の「ヨイトマケの唄」は最初から最後まで、聞いていて涙がとまらなかった。米良さんの生き様が感じられる名曲だった。

一日一日を大切に、愛されるより、まず自分から人を愛する大切さを感じました。米良さんのお話が聞けて、歌が聞けて幸せでした。

力強い歌声ですごく感動しました。お話もすごくよかったです。今日この人権のつどいに来てよかったと思います。

米良さんの透き通る歌声、大変感動しました。自分として自分の花を咲かせていきたいと思えます。

### 第6回町民人権講座

11.16thu

## 対談「私のはなし 部落のはなし」

11月16日に、第6回町民人権講座が開催されました。今回の講座は、映画監督の満若勇咲さんとジャーナリストの角岡伸彦さんとの対談形式で行われました。満若さんの映画作りがきっかけでお二人は出会い、現在まで親交を深められてきたということでした。



(左：満若勇咲さん、右：角岡伸彦さん)

お二人の対談を通し、「私のはなし 部落のはなし」という部落問題を扱ったドキュメンタリー映画を作り上げていく過程や背景について、詳しく知ることができました。お二人のお話から、部落問題をテーマにした映画づくりの困難さが伝わってきましたが、満若さんは「部落問題は難しい問題だと言いたくはない」という思いを強く持ちながら、この映画づくりに取り組まれたということでした。また、「カニツツアの図形」を例に、部落差別をする人の言動だけでなく、部落差別に反対する人の言動もまた、部落問題という輪郭をはっきりさせているところが、この問題の難しい点だということも教えてくださいました。近年のインターネット・SNSの普及により、部落差別・部落問題がより深刻になっている状況があり、角岡さんは、部落問題は今後も残るかもしれない、残るとするとどういう残し方がいいのか、という問題提起もされていました。

「私のはなし 部落のはなし」ぜひこの映画を見てみたいという思いに駆られた、お二人の対談でした。

うまく言えませんが、「無いのに言葉があって、無くなった方がいいのに残っていく被差別部落。これから歴史を知って、残り方、語れる場、これからのことを考える。」という視点をくださいました。「私のはなし 部落のはなし」の映画を見てみたいと思いました。

いいテーマの対談でした。聞きたいことがいっぱい聞いて良かったです。性的マイノリティなどに光が当たる中、なぜ部落問題の解決について伏せられていくのか、より多くの人と考えてみたいです。

今だから部落を勉強すべきであると思います。だれもが持つルーツを、何も考えず話せるような世の中になるよう、みんなで努力していくことが大切であると感じました。

## 「夢」「希望」を乗せて！

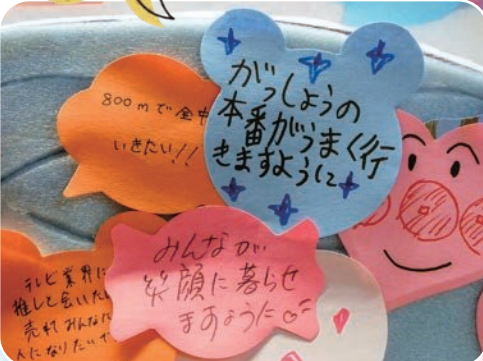
今年も人権週間にあわせて、なびあすに人権共同作品コーナーを設けました。

今年は、「北陸新幹線 敦賀開業」を記念して、自分の「夢」や「希望」、「行きたい場所」などを付箋に書いて、北陸新幹線かがやきに乗せていくという取り組みを行いました。

かがやきに寄せられた付箋には、「看護師になりたい」「東京に行きたい」「孫に会いたい」など、それぞれの思いが綴られていました。

人権週間が終わった後もなびあすに設置してありますので、皆さんも「かがやき」に「思い」を乗せてみませんか。

たくさんの思いが詰まっています！



thank YOU

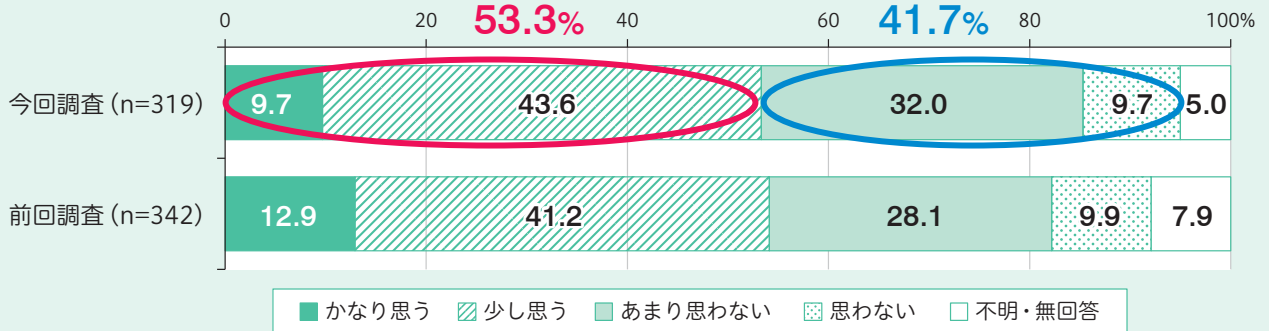


(作品公募・意識調査部会 提供)

## 「人権に関する町民意識調査」(R4.8月実施)の結果より

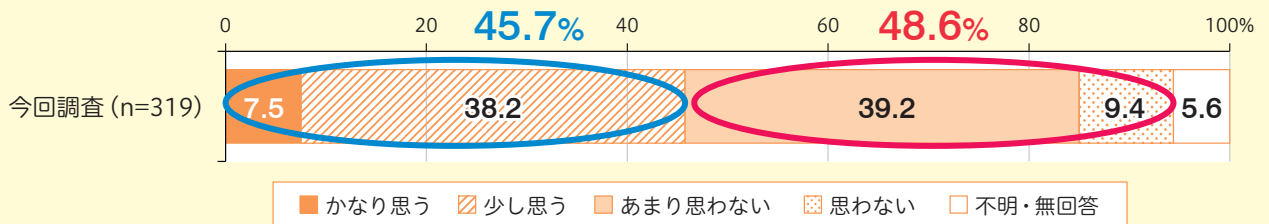
### 問A 今の美浜町は、人権が尊重されている町だと思いますか。

全体としては、「かなり思う」「少し思う」を合わせた『思う』が53.3%で、「あまり思わない」「思わない」を合わせた『思わない』の41.7%を上回っており、前回調査(H24.7月実施)と比べて大きな差はみられない。



### 問B 町民一人ひとりの人権意識は10年前と比べて高くなったと思いますか。

全体としては、「あまり思わない」「思わない」を合わせた『思わない』が48.6%と「かなり思う」「少し思う」を合わせた『思う』の45.7%を上回っている。



## 人権協として、この結果について話し合いました。

一人一人の人権意識が高くなり、「人権が尊重されている」ということについてハードルが高くなったのでは？

コロナ禍の影響で、マイナスに考える人が多かったのでは？

約半数の人が10年前と比べてよくなっていると答えているということは、様々な取り組みの成果が出てきているのではないかな？

LGBTQなど、新たな人権課題も顕在化してきているからでは？

まだまだ身近なところで「差別的な発言」を耳にする人が多いのでは？

あなたは、この結果をどう考えますか？

次回の調査で、各質問項目のポイントが良い方向にアップするように、意識調査の結果を人権協の各部会の取り組みに生かしていきます。



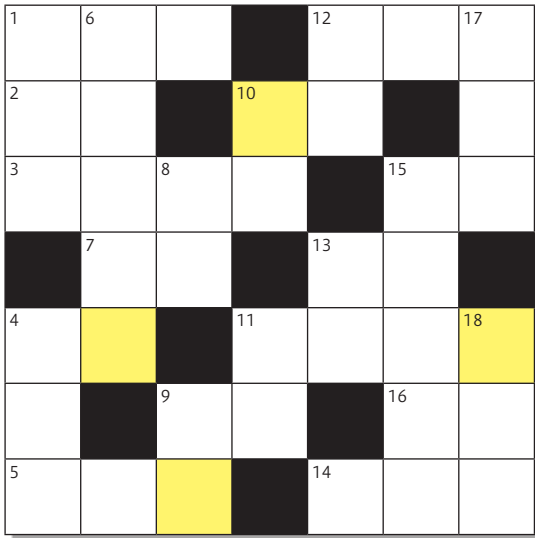
詳しい調査結果は、人権協のホームページでご覧いただけます。

<https://mihama-jinkenkyo.jp/materials/170443621917101.pdf>

# こえ 声 こえ

「ふれあい」第81号をお読みにした読者の方より、多数のおたよりが寄せられました。ありがとうございます。紙面の都合上、その中のいくつかを紹介いたします。これからもみなさんの「声」をお届けいただくと幸いです。

- ◆あらためて紹介される心温まるお話や感心させられるお話をいつも楽しみにしています。人を感動させ、何かに気づかせることは、大変で地道なことだと思いますが、これからも頑張ってください。(Y.Hさん)
- ◆小学校の人権集会を参観し、児童の発表を見て、気持ちを歌にしました。「人権は 心一つに つなぎをり 児童の発表 心温もる」(T.Kさん)
- ◆私は81歳なので、あまり人権講座等に参加することはできませんが、皆様の声や感想を読んで、とても良い講座だったのだと思います。(S.Tさん)
- ◆人権講座は勉強になることが多く、多くの回受講しております。又、話ばかりではなくコンサートも楽しみの一つです。(T.Mさん)



## 応募方法 (郵送、FAX、E-mailいずれかをお願いします)

- 答え・住所・氏名を巻末の用紙に書いて下記までお送り下さい。  
〒919-1141 美浜町郷市29-3 人権協事務局 (生涯学習センターなびあす内)  
※FAX(0770-32-1222)  
E-mail(jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp)

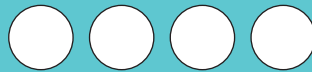


感想や  
ご意見も  
お願いします。

- 〆切は、令和6年4月26日(金)です。(当日消印有効)
- 正解者の中から抽選で、図書カードをお送りします。
- 前号の人権クロスワードの正解は「コミュニケーション」でした。たくさんのご応募、ありがとうございました。正解者は19名でした。

今回の当選者は **高橋 智子さん 重兼 光良さん**  
**竹長 優さん 山崎 尚美さん 福嶋 博之さん**  
以上の皆さんです。おめでとうございます!

## 人権クロスワードパズル 黄色のわくの中の文字を使ってできる言葉が答えです。



### タテのカギ

1. 照明、明かりのこと。「ヘッド○○○」「スポット○○○」など。
4. 目で見通すことのできる範囲のこと。
6. ガソリンエンジンやモーターなどの原動機を使って、レールや架線を用いずに路上を走る車のこと。
8. 小麦粉などを水に溶かした時に、よく溶けないでできる固まりのこと。
9. 皮膚のすぐ下のこと。○○組織、○○脂肪など。
10. 一、十、百、千、万、億、兆、京、○○、…
11. たくさんの具を乗せた、イタリア風のパイのこと。マルゲリータやピスマルクなどの種類があります。
12. 割、分、○○、毛、糸、忽、微、織、沙、塵、埃、…
13. 分かれ道のこと。または、将来が決まるような重大な場面のこと。
15. 花札で、雨を含めて20点札を4枚集める役のこと。
17. 鎌倉幕府・室町幕府で設置されたもので、軍事・警察権を中心に、諸国の治安・警備に当たった役職。
18. 大阪府や京都府など2府5県で構成される地方のこと。

### ヨコのカギ

1. 電波を利用してニュースや音楽などを受信する装置。
2. 地下深く掘り、地下水を汲みあげるようにしたもの。
3. あまり身近なことは、かえって気がつかないこと。たとえ「○○○○下暗し」。
4. ある定まった視点から見える範囲のこと。
5. 「海豚」と書く、海などに住む哺乳類。
7. 日本に約14,000個ある、水に囲まれた陸地のこと。
9. 足の、ももとすねをつなぐ部分のこと。
10. カモ科の水鳥で、湖や湿地などで見られます。
11. 小麦粉を練った生地色々な具材を包み、オーブンで焼くか油で揚げて作るロシア風のパイのこと。
12. お相撲さんのこと。
13. 「肌理」と書く、皮膚の表面の細かいあやのこと。
14. 床のごみなどを掃く掃除道具。
15. トビウオの別称にも使われている。○○だし。
16. 紫色を帯びた深い青色のこと。

### 編集後記

◆年間3号発行しているこの広報紙。今年度も最終号となりました。手にとっていただきありがとうございます。  
◆「アンテナを高く」と様々な領域でよく言われます。言葉の通り、アンテナは高くするほど普段はキャッチできない弱い電波でもキャッチできるようになります。料理に例えれば、食材について詳しく知ったり、新しい料理法を学んだりすることでその幅が広がります。◆人権の領域での「アンテナを高く」の大切な一つは、「正しく知る」ということです。その裏返しは「無関心」ということになるでしょうか。無関心というのは一見誰にも迷惑をかけないように思われますが、無関心な人があなたの周りにたくさんいたとしたらどうでしょう。様々な問題が起きても一向に解決しないということがいたるところで

起きる気がします。◆○○ハラスメントという言葉がたくさんあります。セクハラ一つとっても無関心では済まされません。何が人を傷つけるのか、傷つけないために私に何ができるのかを正しく知らないで決まってしまうのです。◆今年も人権協では、正しく知っていただくための取組をたくさん進めてきました。どうか今後ともご自身のアンテナを高くし、ふれあいの多い町にするためにも人権協の活動にご参加、ご協力をお願いします。◆では、「あした天気になあれ」と願いながら、今年度終わりの編集後記とさせていただきます。いつもお読みいただきありがとうございます。次年度も一人でも多くの方に手に取っていただけますように…。

【広報部会員一同】